

飯館村の里山を守る

活動地域  福島県相馬郡飯館村



耕耘機を使って地表面の汚染度の掘り起こし

課題

飯館村は東電福島第一原発事故で放射能に汚染され、その75%を占める山林は未除染、保全整備もないままで、木材の利用も放射能汚染によりゼロに近い状況が続いている。

目標

里山林の下草除去と間伐による整備で、目標は4,200m²。また里山再生活動ワークショップとして、樹木の放射能低減実験ワークショップを2023年1~3月に実施。目標は参加者数20人。



今後の
展望

植樹後2~3年で枝葉の放射能測定が可能となり、5年後には幹の測定も可能となる。また今回の樹木の放射能低減実験を現地で学び、土壌やクヌギの放射能測定を体験する「樹木の放射能低減実験ワークショップ」を開催する。

つづける助成

2年目

実践

活動内容と成果

モデル里山林内で、下草除去と間伐により約5,000m²の雑木林を整備した。そのうち80m²を除染し、除染と未除染エリアにクヌギ70本を植樹した。除染で土壌の放射能濃度は約1/3に減少した。今後数年間に亘り、植樹した樹木の成長に沿って、放射能濃度を測定する。地産木材の利用促進の観点から結果が注目される。若者グループワークショップとして、堆肥作りと雑木林の除染に植樹を組み合わせた里山再生活動ワークショップを2023年3月19~20日に実施した。福島大学と東京大学の学生が20人、村民6人と再生の会会員6人で、総勢32人が参加した。



積雪の中行われたクヌギの植樹

里山の雑木林の整備下草除去と間伐 **5,000 m²**

若者グループ
ワークショップ参加者数 **32人**

今年度計画の達成度 **100%**

全体計画の達成度 **70%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

雑木林の土壌が汚染されている状況を把握する放射能の測定方法と、その汚染土を除去する方法を計画すること。

■工夫した点

深さ0~20cmの土壌採取、2cm刻みで放射能濃度を測定。耕耘機で0~10cmの汚染土を掘り返し、レーキで運び出した。

〒960-1815

福島県相馬郡飯館村佐須字滑 87

電話：090-7716-6016

E-mail: sojiobara@gmail.com

HP: <http://www.fukushima-saisei.jp>

